

# ぼらんていあ ニュース

令和元年 **秋号**

編集発行：文京ボランティア支援センター

## いきいき小日向デイサービスでの タンゴセラピー参加ボランティア募集

**ボランティア  
募集**

【活動内容】 外部講師によるタンゴセラピーと一緒に  
参加しながら利用者さんと交流します

【活動日】 毎月第1・3火曜日 13時半～14時半  
(いつでもご相談OK)

【場所】 SOMPOケア いきいき小日向  
1階デイサービス  
(文京区小日向2-8-15)

【お問合せ】 文京ボランティア支援センターまで  
TEL.03-3812-3114  
E-MAIL vorasen@bunsyakyo.or.jp



ボランティアしたい！してほしい！  
お問い合わせは文京ボランティア支援センターまで！

## あなたと地域をつなぐ情報サイト

まずは、 **どっとフミコム** で **検索**



ボランティア情報

お知らせ

イベント情報

団体紹介



QRコードで直接アクセス！

「どっとフミコム」では、ボランティア募集や地域でのイベント、文京区内で活動されている団体の紹介など様々な最新情報を見ることができます！気になるイベント、お知らせ、団体などぜひチェックしてみてください！

発行：社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 文京ボランティア支援センター  
〒113-0033 東京都文京区本郷4-15-14 文京区民センター4階  
TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966 Eメール vorasen@bunsyakyo.or.jp  
ホームページ <http://www.bunsyakyo.or.jp>

開所日 月～金曜日(祝日年末年始除く) 窓口開所時間 8:30～17:15 \*ぼらんていあニュースは、封入ボランティアの皆さんのご協力のもと、お届けしています。いつもご協力ありがとうございます。

## 今秋、 はじめよう特技ボラ

### ～ “好き” から始める ボランティア～

趣味・特技・好きなこと・お仕事のご経験など、特技を活かしたボランティアを大募集中！地域の施設やイベント等で披露したり教えたり。楽しみながら出来るボランティア活動。



まずは  
文京ボランティア支援センターまで  
ご連絡ください♪



## 老人ホームイベント出演ボランティアのお知らせ

**特技  
ボランティア  
募集**

【活動内容】 月1開催イベントのご協力  
【活動日】 不定期でも単発でもご相談可能  
【場所】 ホスピタルメント文京弥生  
(文京区弥生2-4-4)

上記のお問い合わせは、ボラセンまで！<文京ボランティア支援センター>  
TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966 E-mail vorasen@bunsyakyo.or.jp

【1面】 はじめよう特技ボラ

【2面】 文京区ささえ隊 活動報告

【3面】 ぼらんていあインタビュー

【4面】 ボランティア募集/どっとフミコム

文京ささえ隊は、サービス介助士として地域の学校や企業で福祉学習を行うなど、地域で活躍されているボランティアの皆さんです。文京ささえ隊がどのような活動を行っているのか、今夏の活動の中から2つピックアップしてご紹介します。

### Pick up 1. 駒本小学校での高齢者疑似体験教室



駒本小学校の4年生に向けて「高齢者についての理解」「高齢者疑似体験」を実施しました。

前半は、高齢者の日常場面を見るスライドを通して、高齢者の特徴や、日頃どのようなことで支援が必要かについて学びながら、**相手の立場になって想像することの大切さ**を学びました。

後半は、高齢者疑似体験の装具をつけたままの歩行や、買い物体験等を行いました。



実際に体験してみることで、体力的な大変さだけに限らず、情報が思うように入ってこない視覚的な大変さも感じ、**学んだことを体感しながら理解**を深められるのが体験学習の醍醐味です。児童の皆さんからは、「高齢者の生活の大変さを実感しました」「体験したことを活かして、思いやりを持って接したい」など、多くの感想をいただきました。これからも、お互いにささえ合える地域社会を目指して、活動を行ってまいります。

### Pick up 2. 法務省「こども霞ヶ関見学デー」での車いす体験

8月7日（水）、8日（木）の2日間、法務省で行われた「こども霞ヶ関見学デー」にて、おもちゃ2015さん、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会の皆さんとともに、車いすの体験ブースを出展してまいりました。



当日は全国各地から多くの子どもたちが参加し、車いすでの移動や介助について学び、体験しました。参加者からは、「車いすを身近に感じられ、理解できました」「どんな時どんな風にお手伝いしたり声を掛けたら良いのかわかった！」「当事者のお話も聴くことが出来、親子で学ぶことができました」など、**心のバリアフリーを体感出来る機会**となりました。



## おしらせ

今年度も文京ささえ隊ボランティア養成講座を実施することが決定しました！詳細は『ぼらんていあニュース冬号(11/22発行)』および文京区社会福祉協議会ホームページにてお知らせします。



今年も大好評のうちに幕を閉じた夏のボランティア教室2019、夏ボラ！今回のぼらんていあインタビューは、八千代保育園でボランティアされた方、そして夏ボラを受け入れてくださった大塚福祉作業所の熊澤さんにお話を伺いました。

ボランティア参加者の声  
＜公益財団法人東京都助産師会館 八千代保育園＞



Q.ボランティア活動に参加しようと思ったきっかけは？

今後、保育園で働きたいと思ったので！

**ボランティア活動が、新たなチャレンジのきっかけに！！**

Q.参加された感想をおしえてください！

本、テレビ、ネット等でみた時と、実際に体験した時とでは、同じことでも感じ方や捉え方が全く違っていました。

Q.これからボランティアに参加しようか迷っている皆さんにメッセージをお願いします！

現場を体験することにより、今後の目標や意識の持ち方が



はっきり見えてきます。**迷っている時こそ参加しましょう！**

ボランティア受入先の声＜文京区立大塚福祉作業所＞



大塚福祉作業所  
職員 熊澤さん

Q.ボランティアにお願いしている活動内容は？

障害のある利用者さんと共に、チラシの折り込みや冊子の封入等の軽作業に携わっていただきます。

Q.ボランティアを受け入れて感じたことは？

利用者さんにとって多くの方々と関わりを持つことは、**大変刺激になり良い効果が得られます**。ぜひ多くの方に参加して頂き、たくさんコミュニケーションをとっていただきたいと思います。



インタビューのご協力、ありがとうございました

